

早に深川を発す（平野金華）

月落人煙曙色分

長橋一半星文を限る

天に連なつて忽ち下る深川の水

直ちに総州に向つて白雲と為る

月落人煙曙色分
長橋一半限星文
連天忽下深川水
直向總州爲白雲

解説 早朝に深川を出発して、隅田川を下ったときの作。

語釈 ※深川Ⅱ隅田川の下流。※人煙Ⅱ人家の炊事の煙。

※曙色分Ⅱ夜が明け景色が次第にはつきりしてくる様子。

※長橋Ⅱ隅田川の下流にかかる永代橋をいう。※一半Ⅱ半分。

※星文Ⅱ空に星の連なっていること。※連天Ⅱ天に連なる。こ

こは、下の深川の水が天に連なること。※総州Ⅱ上総国、下総国を合わせて総州という。

通釈 月が西の空に落ち、家々からは朝食のための炊煙が立ち上り、夜が明けてきて景色もはつきりとしてきた。仰ぎ見る永代橋は天を二つに切断して、星の輝きを彼方、此方に分け隔てている。この天に連なる深川の水を下つて、海に出ると、末は遙かに白雲のたなびく総州まで至る。